

2020年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月9日

上場会社名 株式会社エクスマーション 上場取引所 東
 コード番号 4394 URL <https://www.corporate.exmotion.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 三上 宏也 TEL 03 (6420) 0019
 四半期報告書提出予定日 2020年10月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第3四半期の業績 (2019年12月1日～2020年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第3四半期	637	△9.4	57	△61.4	61	△59.6	41	△60.1
2019年11月期第3四半期	704	17.8	148	45.7	151	44.5	104	46.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第3四半期	14.79	13.84
2019年11月期第3四半期	39.46	34.95

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第3四半期	1,474	1,398	94.8
2019年11月期	1,513	1,391	91.9

(参考) 自己資本 2020年11月期第3四半期 1,398百万円 2019年11月期 1,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年11月期	—	0.00	—	—	—
2020年11月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	865	△11.4	76	△59.3	87	△54.1	60	△57.2	21.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期3Q	2,849,500株	2019年11月期	2,797,100株
② 期末自己株式数	2020年11月期3Q	29株	2019年11月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期3Q	2,814,451株	2019年11月期3Q	2,644,524株

当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法等）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いており、段階的な社会経済活動の再開がみられるものの、新型コロナウイルス感染症が企業収益に与える影響については、先行き不透明な状況が続いています。また、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社の事業領域である組込みソフトウェア開発のコンサルティング業界におきましては、製造業におけるソフトウェアの重要性が高まっており、引き続き、優秀な人材の確保とナレッジ活用を柱としたコンサルティング事業の効率化が急務と考えております。

このような環境の下、コンサルティング事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部顧客の休業要請やトレーニングサービスの開催延期などの影響が生じておりましたが、ニューノーマルに対応したサービス、「トータルコンサルティングサービス オンラインプラン」、「オンライントレーニング」を6月より開始しました。また、成長に向けた投資活動の状況については、コンサルティング事業のスケールアップは、コンサルティング業務のコア資産のデジタル化・ストック化のプロジェクトを予定より前倒しで進捗しております。事業領域の拡大は、Z世代の若者を発掘・育成するプログラム「DeruQui」(デルクイ)を6月よりトライアルを開始しました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は637,926千円(前年同期比9.4%減)、営業利益57,420千円(同61.4%減)、経常利益61,094千円(同59.6%減)、四半期純利益41,612千円(同60.1%減)となりました。

なお、当社はコンサルティング事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,388,809千円となり、前事業年度末に比べ32,436千円減少いたしました。これは主に売掛金が34,357千円減少したことによるものであります。固定資産は85,863千円となり、前事業年度末に比べ6,755千円減少いたしました。これは主に減価償却に伴い有形固定資産が4,015千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,474,672千円となり、前事業年度末に比べ39,191千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は75,921千円となり、前事業年度末に比べ46,672千円減少いたしました。これは主に賞与引当金が33,957千円増加した一方で、未払法人税等が31,181千円減少したことと、その他に含まれる未払消費税等が10,301千円、預り金が23,722千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は75,921千円となり、前事業年度末に比べ46,672千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,398,751千円となり、前事業年度末に比べ7,480千円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,015千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は94.8%(前事業年度末91.9%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の業績予想については、2020年10月8日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。詳細は2020年10月8日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,272,120	1,275,170
売掛金	108,407	74,050
仕掛品	33,189	32,108
貯蔵品	30	36
その他	7,497	7,442
流動資産合計	1,421,245	1,388,809
固定資産		
有形固定資産	23,165	19,150
無形固定資産	41,055	41,432
投資その他の資産	28,397	25,281
固定資産合計	92,618	85,863
資産合計	1,513,864	1,474,672
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,320	—
未払法人税等	31,181	—
賞与引当金	—	33,957
その他	90,091	41,963
流動負債合計	122,593	75,921
負債合計	122,593	75,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,759	440,774
資本剰余金	427,759	431,774
利益剰余金	526,087	525,743
自己株式	—	△34
株主資本合計	1,390,607	1,398,258
新株予約権	663	493
純資産合計	1,391,271	1,398,751
負債純資産合計	1,513,864	1,474,672

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)
売上高	704,311	637,926
売上原価	373,386	381,448
売上総利益	330,925	256,477
販売費及び一般管理費	182,114	199,057
営業利益	148,811	57,420
営業外収益		
受取利息	19	16
助成金収入	1,775	3,207
その他	481	450
営業外収益合計	2,277	3,674
経常利益	151,088	61,094
特別損失		
固定資産除却損	39	—
特別損失合計	39	—
税引前四半期純利益	151,049	61,094
法人税、住民税及び事業税	45,309	17,877
法人税等調整額	1,393	1,604
法人税等合計	46,703	19,482
四半期純利益	104,345	41,612

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の影響により、当社のコンサルティング事業では、一部顧客でのプロジェクトの中断、コンサルティング要員の自宅待機及びトレーニングサービスの開催延期などの影響が生じておりました。

このような状況は、当事業年度中は継続し、翌事業年度より徐々に回復すると仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。